広報にいつ

発行所 新津市役所
発行人 窪田繁雄
電話代表 800番
印刷所 東洋館印刷所
毎月一回 発行

人口動態
(11月1日現在)

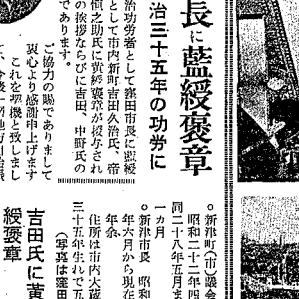
人口	57,282		
世帯数	10,501		
(10月中)			
転入 125	転出 164		
出生 83	死亡 40		
婚姻 32	離婚 4		

阿賀浦橋・跨線橋完成

市発展に大きな役割 一小で竣工式

12月7日

阿賀浦橋その竣工式が十二月七日午前十時から第一小学校体育館で、建設大臣、県知事をはじめ国会議員、県会議員、関係市町村、発起人等多数の参列して催されます。

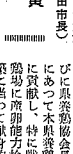


阿賀浦橋は新津市と新発田市を結ぶ中新田地内旧橋に並んで架設されたもので、昭和二十九年十月着工、総工費約二億円で完成、橋の長さは三〇三米、巾員六・五米で、近代的色彩を帯る雄大な永久橋で、日本一長い鉄橋として知られている阿賀浦橋の鉄橋と並んでいます。

跨線橋は県道新潟清良鉄道の新津駅構内を中心として昭和二十八年十一月着工総工費約一億四千万円で完成延長は四〇七米、中央六四米が跨線橋となっており市員は大正末期に開通の新津駅構内のために大きな役割を果たすものとして期待されています。なおこの六四米が跨線橋となったのは、市の大正末期の国鉄電化を考慮して作られたもので、同側に歩道を設置し、将来の電化に備えて作るべき眼明灯は夜間の交通にも、昼間と同じような便利を与えこれまで一日に何度となく交通遮断のために不便をかこっていた市民、小合方面の住民はもとより、運輸交通の発展のために期待されたものであり、今後の新津市発展のために大きな役割を果たすものとして期待されています。なおこの跨線橋は去る十一月十一日に開通されたもので、市の負担として市道の新設工事、橋の長さは三〇米、巾員六・五米、橋の長さは三〇米、巾員六・五米、橋の長さは三〇米、巾員六・五米で、近代的色彩を帯る雄大な永久橋で、日本一長い鉄橋として知られている阿賀浦橋(跨線橋)

窪田市長に藍綬褒章

地方自治三十五年の功労に



窪田繁雄

この度、地方自治功労者として、窪田市長の時蹟を賞され、産業功績者として市内新町吉田久治氏、帝石新津鉱場長中野恒之助氏に褒章が授与されました。窪田市長の授賞ならびに吉田、中野氏の略歴は次のとおりであります。

ご協力の賜で誠に感謝申上げます

これを栄誉機と致しまして、今後一層地方自治振興発展のために努力を傾注し、市民各位とともに新津市を、より明るく、より楽しい郷土として、きあげたい覚悟であります。ご支援をお願申上げます

窪田市長の略歴

四月から昭和十八年九月まで二十三年六ヵ月

一層の努力を傾注

窪田繁雄

県議会議員、県農業会長、県農業会長、県農業会長